

## 第 28 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会 議事録

日 時：平成 27 年 10 月 7 日（水） 10：00～13：00

場 所：日本薬学会長井記念館 1 階 AB 会議室

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

### ○報告事項

#### 1. 平成 27 年度第 I 期実務実習実施状況について

平成 27 年度第 I 期実務実習に関わる各地区の報告書（資料 1）を事前に中央調整機構委員へ配付した。本委員会では本報告書の内容について、特段の報告や意見は出されなかった。

#### 2. 平成 26 年度実務実習実施結果および平成 27 年度在籍者数

資料 2（平成 26 年度実務実習実施結果）および資料 3（平成 27 年度在籍者数一覧）に基づき、望月代表理事が報告した。北海道地区は全ての実習を北海道内で行っていること、また、関東地区や近畿地区は地区外へ多くの実習生を出していることがわかる。ふるさと実習を更に推進したい、また、平成 31 年度からはふるさと実習の申込みを全国同時に開始できるよう進めていきたいと望月代表理事が発言した。

#### 3. 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく薬学実務実習に関する事前調査

資料 4-1（改訂モデル・コアカリキュラムに基づく薬学実務実習に関する事前調査スケジュール）に基づき、調査・研究・評価委員会伊東委員長が報告した。

パターン 1（実施済み）について、関東地区の回答率は 51.7%、北陸地区の回答率は 27.4%（今まで受入を表明していない施設にも回答を依頼したため、回答率が低かった）であり、両地区とも再度回答を促すことになった。

また、資料 4-2（事前調査解析結果（関東地区））に基づき、関東地区の解析結果について伊東委員が報告した。

#### 4. 平成 27 年度文部科学省委託事業「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業」の申請について

テーマ 4「薬学教育の改善・充実に係る調査研究」、テーマ 5「国内外の医療系学部等におけるシミュレーション教育・研究に関する調査研究」に応募したと阿刀田事務局長が報告した。まだ審査が終わっていないため、結果が出るにはもう少し時間がかかると文部科学省の前島氏が発言した。

#### 5. 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップについて

資料 5-1（今後の薬学教育者ワークショップ等の実施について）に基づき、オブザーバーとして出席した薬学教育者ワークショップ実施委員会平田委員長が以下について説明し、各地区で周知してほしいと依頼した。詳細は資料 5-1 を参照。

- ・今後のタイムスケジュール（資料 5-1）
- ・全国薬学教育者アドバンスワークショップ（資料 5-2）
- ・タスクフォーススキルアップ研修会（資料 5-3）
- ・指導薬剤師を対象とするアドバンスワークショップ（資料 5-4）
- ・（更新時）指導薬剤師を対象とする OBE に関する説明会
- ・改訂プログラムによる薬学教育者ワークショップ（資料 5-5）

## ○協議事項

### 1. 支部運営規則（案）について

資料 6-1（支部運営規則の骨子）、資料 6-2（支部運営規則（案）・定款との連結）に基づき、主に修正追加条文について須田業務執行理事が説明した。

協議事項 1：（第 4 条）地区以外の大学は、認定支部会員として取り扱わずオブザーバーとする。

協議事項 2：（第 8 条）副支部長数については、各支部に任せるが、支部長に事故があるときに支部長代理となり得る副支部長を定める必要がある。支部運営規則案第 8 条の第 1 項ロの数値を削除し、第 3 項を「前項イ以外の役員の定数は、支部が別に定める」と書き換える。また、第 2 項と第 3 項を入れ替える。副支部長の優先順位についても定める。

本案は改めて 11 月に開催する第 43 回理事会に諮る。なお、理事会にて承認が得られた場合、各地区調整機構は、本薬学教育協議会支部運営規則（案）に従って、各地区の状況に合わせた支部規則等を作成し、支部総会の承認を得よう須田業務執行理事が依頼した。

### 2. 委員会に関する規則（案）、中央調整機構委員会規則（案）について

資料 7（委員会に関する規則（案））、資料 8（中央調整機構委員会規則（案））に基づき、須田業務執行理事が説明した。本案について意見があれば事務局へ寄せることになった。

本案は 11 月に開催する第 43 回理事会に諮る。

### 3. ガイドライン説明会について

資料 9（ガイドライン説明会記録）に基づき、ガイドライン説明会の実施状況、地区によって実施回数に差があることを阿刀田事務局長が説明した。二次的、三次的な説明者は薬学実務実習連絡会議ワーキンググループのメンバーでなくても良いが、内容が統一されていることが必須である。またその際の資料（連絡会議にて作成）は PDF を使用することを申し合わせた。

文部科学省の前島氏から、ガイドラインを広く周知してほしい、説明者の選任等相談があれば連絡してほしいと発言があった。

4. 「病院における長期実務実習に対する基本的な考え方」、認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領について

モデル・コアカリキュラムの改訂に伴い、「病院における長期実務実習に対する基本的な考え方」を資料 10-1（「病院における長期実務実習に対する基本的な考え方」）2 枚目のとおり改定したと遠藤委員が説明した。また、薬学教育協議会のウェブサイト本文を公開しても問題ないとのことを遠藤委員に確認した。

また、上記改定に伴い、認定実務実習指導薬剤師申請制度実施要領（日本薬剤師研修センター作成）も改定されたと須田業務執行理事が説明した。現在、薬学教育者ワークショップの受講申請者の中に受講要件を満たしていないケースが発生しているため、周知徹底するよう申し合わせた。

5. 日本私立薬科大学協議会から出された実務実習についての問題点等の検討

平成 26 年度実務実習に対して指摘された標記問題点に対する中央調整機構委員会の回答案（資料 11）について意見交換した。

- ・実務家教員の人数について：新モデル・コアカリキュラムに対応できるだけの実務家教員の人数が足りないとの意見があると、文部科学省の前島氏に伝えた。
- ・ガイドラインを順守できる環境整備について：（北陸地区）大学から 1 時間半以内に在宅を実施している薬局がほとんどない。石川県や金沢市にモデル薬局を作って欲しいとの意見があると、日本薬剤師会永田委員に伝えた。
- ・ふるさと実習について：各地区調整機構においてふるさと実習推進に努めている。
- ・指導薬剤師や施設間の格差について：報告事項 5 のとおり、現在薬学教育者ワークショップのプログラム改訂を進め、格差解消に努めている。
- ・実務実習費統一について：京都薬科大学乾教授を委員長とする委員会にて協議その結果、必要であれば薬学教育協議会が協力する。
- ・訪問回数について：WEB システムを利用する等し、各施設と大学で調整してほしい。

既にメールにて照会した各地区調整機構からの回答は日本私立薬科大学協会総会と全国薬科大学長・薬学部長会議総会にて報告すると望月代表理事が発言した。

6. WEB システムに関するアンケート調査について

資料 12-5（WEB に関するアンケート（案））については、メールで事務局へ意見を寄せることになった。アンケート内容は今後メール会議で決定し、今年中に実施する予定である。

7. 臨床系（実務家）教員の再研修について

臨床系（実務家）教員の再研修について、先日の新六者懇で日本病院薬剤師会から協議事項として提案されたと望月代表理事が報告し、この件は今後本委員会で協議することになった。

診療補助従事者という形であれば費用その他が発生することはないとの日本病院薬剤師会の意見であった。現状では再研修を実施している大学もあるが、バラつきがある。「再研修」という言葉ではなく、今の医療現場の情報をアップデートするという意味の言葉を使用した方が良いとの意見が出された。

以上

別記 1 第 28 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会出席者名簿

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
北海道地区調整機構	宮本 篤	○
東北地区調整機構	富岡 佳久	○
北陸地区調整機構	新田 淳美	○
関東地区調整機構	伊東 明彦	○
	吉山 友二	オブザーバー
東海地区調整機構	長谷川 洋一	○
近畿地区調整機構	橋詰 勉	○
	西野 隆雄	オブザーバー
中国・四国地区調整機構	手嶋 大輔	○
	島田 憲一	オブザーバー
九州・山口地区調整機構	原 周司	○
日本薬剤師会	生出 泉太郎	欠
	永田 泰造	○
日本病院薬剤師会	遠藤 一司	○
	石井 伊都子	○
日本保険薬局協会	原 正朝	○
薬学教育協議会	井村 伸正	欠
	須田 晃治	○
	望月 正隆	○
	阿刀田 英子	○
大阪大学/薬学教育者ワークショップ実施委員会	平田 收正	オブザーバー
文部科学省高等教育局医学教育課	前島 一実	○
	佐口 健一	○
厚生労働省医薬食品局総務課	田宮 憲一	欠

**別記 2** 配付資料

- 資料 1 : 平成 27 年度第 I 期実務実習に関わる各地区の報告書
- 資料 2 : 平成 26 年度実務実習実施結果
- 資料 3 : 平成 27 年度在籍者数調査結果
- 資料 4-1 : 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく薬学実務実習に関する事前調査  
スケジュール
- 資料 4-2 : 事前調査解析結果 (関東地区)
- 資料 5-1 : 今後の薬学教育者ワークショップ等の実施について
- 資料 5-2 : (資料 1) 全国アドバンストワークショップ プログラム案
- 資料 5-3 : (資料 2) タスクフォーススキルアップ研修会・モデルプログラム案
- 資料 5-4 : (資料 3) 認定実務実習指導薬剤師のためのアドバンストワークショップ・  
モデルプログラム案
- 資料 5-5 : (資料 4) 薬学教育者ワークショップ・改訂プログラム案
- 資料 6-1 : 支部運営規則の骨子
- 資料 6-2 : 支部運営規則 (案)
- 資料 7 : 委員会に関する規則 (案)
- 資料 8 : 中央調整機構委員会規則 (案)
- 資料 9 : ガイドライン説明会記録
- 資料 10-1 : 「病院における長期実務実習に対する基本的な考え方」  
(平成 22 年 3 月、平成 27 年 2 月) (日本病院薬剤師会資料)
- 資料 10-2 : 「認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領」(平成 27 年 10 月)  
(日本薬剤師研修センター資料)
- 資料 11 : 「中央調整機構委員会で検討したい」と回答した項目一覧  
(「日本私立薬科大学協会」資料) に対する対応
- 資料 12-1 : ガイドラインに現れる「WEB システム」
- 資料 12-2 : WEB システムについて (各地区の現状)
- 資料 12-3 : WEB に関する意見 (平成 25 年度実習報告より)
- 資料 12-4 : WEB に関する意見 (平成 26 年度実習報告より)
- 資料 12-5 : 薬学実務実習を支援する WEB システムに関するアンケート  
第 27 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録